



## <教育目標>

「のびのびと心温かい箱根の子どもの育成」 ～箱根を愛し かしこく やさしく たくましく～

朝晩の風が涼を運び、せみ時雨は鈴虫たちの合唱に変わってきました。日中の暑さはまだまだ厳しいですが、秋の足音がすぐそこまで近づいてきています。

今日から2学期！賑やかな園生活が始まりました。始業式では、担当の先生から夏の思い出や2学期の行事、コロナ対策についてお話がありました。園長からは、コロナ対策+αと思う存分遊ぶために先生たちは相談に乗ったり、助けたりして夢を実現するお手伝いをするを話しました。芦ノ湖夏祭りウィークリー絵画展の表彰式も行いました。頑張るといいことがあることを子どもたちは感じたようです。その後、校庭に場を移して、新しいダンスやラジオ体操をしました。久しぶりに登園した子どもは、早速、友達と誘い合ったりレレーやサッカーをしたり、砂場でお店屋さんが展開されたり、虫取り網片手に虫を探したり…やりたい遊びを選んで遊ぶ姿が見られました。

感染対策を十分にし、安心安全な生活をしていきます。(2学期からの保育は別紙をご覧ください)



## 0.1 歳児に新しいお友達が2人入園しました！

朝から、不安で泣き続く2人を見て、泣き始めたR児！遊びのコーナーには、いつも一緒に遊ぶ担任の先生がいて、おもちゃも用意してあるのに…新入園児を抱っこしている先生にしがみつ、泣いているのです。泣いている子どもを見ると不安になることに加え、「僕の先生～」「僕のこと抱っこして～」と心の声が聞こえます。ほかの先生が抱っこしようとしても来ません。その内、両手を口に入れ、よだれも涙も一緒に流れ、ひたすら、担任の先生の手があくまで待つのです。ただ事ではない…我慢の1時間でした！

園では、日々、いろいろなドラマがあり、その経験一つ一つが育ちにつながっていきます。誰もが経験する母子分離、母も子ども試練の時です。小さいながらに社会の中に入っていく瞬間です。やがて、先生と信頼関係を築き、R児のように欠かせない存在となるのです。子どもの心を読み取る時、なんて愛おしい存在なんだろうといつも思うのです。



一年でいちばんお月さまが美しい季節になりました。9/21(火)は、十五夜です。中秋の名月と呼び、晴れていればとても美しい月を見ることができ、お供え物をするのが習わしです。そこで豆知識！

**月見団子**…丸い団子を月に見立て感謝の気持ちを表すそうです。15個の団子をピラミッドのように積んで供えます。一番上の団子が霊界との懸け橋になると考えられていたそうです。

**ススキ**…秋の七草のひとつで白い尾花が稲穂に似ている、魔除けになるといわれています。

**農作物**…サトイモ、クリ、枝豆など収穫されたばかりの農作物を供え、豊作に感謝していたようです。

☆ご家庭でもお月見を楽しんでみましょう！！(10/18 十三夜)



## 災害への備え

近年、大雨や土砂災害など、これまでにない大きな規模での災害が起きています。ハザードマップを見ると、仙石原は土砂災害危険区域が点在しています。起こりうる災害の種類…台風、大雨、土砂、浸水、地震、強風、落下、倒壊が想定されます。危険な場所の確認しておくことが大切です。園でも台風を想定した避難訓練を実施しました。

災害時は、災害状況を見る、雷や豪雨も強風など音を聞くことから子どもは非常に不安になります。保護者のそばにすることがなにより安心なのです。

災害発生時の適切な役割分担と責任について、全職員で共有しています。

家庭でも大切な命を守る行動を家族で話し合い、いざという時に早めに行動できるようにしましょう。

